



北小 家庭学習の手引き

爽やかな5月、何をするにも気持ちのよい季節ですが、今年
は気温の高い日も多く、体調管理にも気を付けなければいけません。

前半のゴールデンウィーク3連休は楽しく過ごせたでしょう
か。明日から、また後半の4連休となります。それぞれのご家庭
で、休みの過ごし方を計画されていることと思いますが、後半は
生活のリズムが崩れないよう配慮して頂けると有り難いです。

そこで、本日、『北小 家庭学習の手引き』を配付いたしました。
去年も全員に配りましたので、2年生以上の人たちは、どんなこと
が書かれているか大体分かると思います。1年生にとっては、
「宿題」と「自主勉強」の違いを理解するのは、まだ難しいかも
しれませんが、ご家庭でこの「家庭学習の手引き」を、お子さん
と一緒に読んで、分かりやすく話をしていただければと思います。
連休明けの7日(月)から、スムーズに学校生活が送れますよ
うご協力をよろしくお願い致します。



<家庭学習>で身に付くものは・・・

『北小 家庭学習の手引き』には、このように書いてあります。

- 授業で学習した内容(勉強)が身に付きます。
- 自然に机に向かう習慣が身に付きます。
- 自分を律し、やるべきことができる意志の強さが身に付きます。
「自分を律し」というのは、「怠け心や甘えをコントロールする」という意味です。
- けじめのある生活態度が身に付きます。

前向きな気持ちで、授業を受け、宿題をこなし、自主勉強に取り組めるような北小っ子
になって欲しいと思います。

北小 学習10のルール

～当たり前のことを

当たり前にすること～



北小学校では、子どもたちが6年間を通して学びをつなげていけるよう、学習のルール
を説明した「北小 学習10のルール」があります。

「①時間になったら席に着く ②正しい姿勢でイスに座る ③挙手は分かりやすくあげる
④名前を呼ばれたら「はい」と返事をする ⑤友達や先生の話最後まで聞く ⑥そ
の場にあった声で話す ⑦授業の始めと終わりのあいさつをする ⑧次の授業の準備をし
てから休み時間にする ⑨ノートを丁寧に取る ⑩引き出しの中の整理整頓をする」

1年生は、これからこの一つ一つをしっかりと身に付けられるよう指導していきます。
「学習10のルール」についても「家庭学習の手引き」と合わせて、ご家庭で時々話題に
していただければと思います。

4月27日(金)の全校朝会で……校長の話から



まず、子どもたちに「お金で買えないとても大切なものは何でしょうか？」と質問しました。すると、たくさん手が上がりました。「命です」と真っ先に答えてくれたのが5年生でした。そのほかに「友達」「家族」「先生」という答えもありました。

そうですね。いろいろありましたが、今日は、『命』についてのお話をしたいと思います。今、みなさんは呼吸をしていますか？ほっぺを触ってごらん下さい。温かいでしょう。それは、みなさんが生きている、つまり命がある、ということですね。実は、みなさんの命のものは、たった0,1ミリ（針の先くらいです）の卵からスタートしていることを知っていますか。この小さな小さな命を、お母さんのお腹で約10ヶ月育ててもらってから、みなさんは生まれてきたのです。生まれて初めてみなさんが頑張ったことが、「呼吸をする」ということなのです。今は、当たり前のことですが、生きるための第1歩としてとても大切なことだったのです。

でも、「命」はいつも目に見えているものではないので、生きていることが当たり前になって、大切な人たちに悲しい思いをさせてしまうことがあるかもしれません。そんな時、思い出して欲しい人の話をします。「腰塚勇人（こしづかはやと）さん」という人です。腰塚さんは、中学校の体育の先生でした。2002年にスキーで転倒し、首の骨を折ってしまい、首から下がまったく動かなくなってしまいました。そんな中、生きているのが苦しくなってしまったこともあったそうです。でも、入院してリハビリをする中で、一番感じたことは、自分の命が活かされ、周りの人たちに支えられている、ということだそうです。そして、その時、腰塚さんは、次の5つのことを心に誓ったそうです。

- 1 口は、人を励ます言葉や感謝の言葉をいうために使おう
- 2 耳は、人の言葉を最後まで聴いてあげるために使おう
- 3 目は、人のよいところを見るために使おう
- 4 手足は、人を助けるために使おう
- 5 心は、人の痛みがわかるために使おう



みなさんも、毎日の生活の中で当たり前で忘れかけている大切な幸せ……例えば、ご飯が食べられる、校庭で走り回れる、勉強ができる、友達がいる、家族がいるなど……を感じられる子になってください。そして、自分も人を幸せにしてあげられる存在であることを知っておいてください。

「命」を大切に思える子は、心が温かく優しい子になれます。そうすると、友達にも優しくでき、人を悲しい気持ちにさせる言葉や行動がなくなるはずですよ。

みなさんは誕生した日から今日まで、いろいろな人たちに支えられて成長してきました。そしてこれからもずっと、みなさんの周りの人たち（家族や友達、先生方や地域の方など）とのかかわりを大切にしていってほしいと思います。



交通安全



毎朝、元気に歩いて登校する子どもたちと様子を見て挨拶を交わす中で、私も元気をもっています。